

令和2年度第1回奄美市広報アンケート

「新型コロナウイルス感染症の影響について」

奄美市企画調整課

実施期間：令和3年2月19日（金）～3月15日（月）

調査方法：インターネット回答による調査

調査対象：任意の回答者（年齢・性別・居住地不問）

抽出方法：奄美市ホームページや広報紙に掲載された二次元コードまたはURLを経由して提出された回答を、アプリケーションを利用して抽出・集計

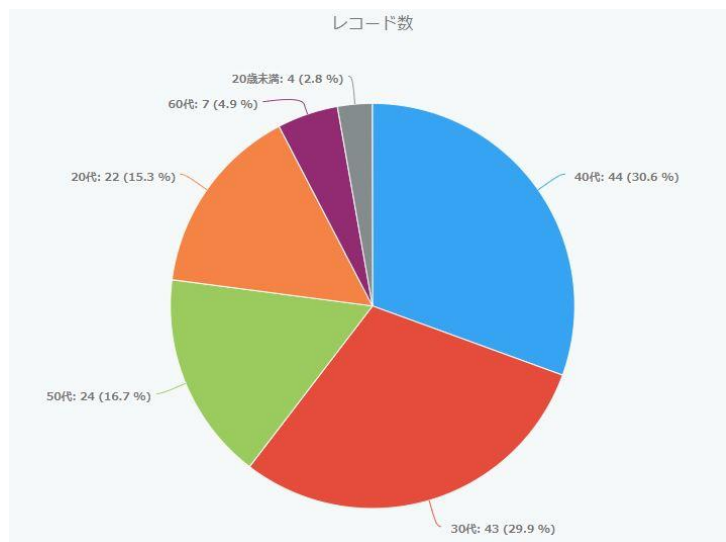
回答者数：144人

備考：無回答や複数回答があるため、回答数が144にならない設問があります。

【回答者の属性】

【年代別構成比】

20歳未満	4人(2.8%)
20代	22人(15.3%)
30代	43人(29.9%)
40代	44人(30.6%)
50代	24人(16.7%)
60代	7人(4.9%)
70歳以上	0人(0%)



【年代・地域別構成比】

地域	年代別人数(人)						計
	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	
名瀬	3	19	38	37	20	6	123
住用	0	0	1	1	2	0	4
笠利	1	1	0	3	1	0	6
奄美市外	0	2	4	2	1	1	10
未回答	0	0	0	1	0	0	1
計	4	22	43	44	24	7	144

【職業別構成比】

※回答 146 人（うち無職 24 人、自営業 14 人、非正規雇用 46 人、正規雇用 62 人）

自営業（14人）	非正規雇用（46人）	正規雇用（62人）
その他 1、サービス 4、教育・学習支援 2、飲食サービス 2、学術研究/専門・技術サービス 3、卸売・小売 1、建設 1	その他 5、公務員 3、サービス 3、医療・福祉 10、教育・学習支援 4、生活関連サービス・娯楽 3、飲食サービス 5、宿泊 3、金融・保険 1、卸売・小売 6、運輸・郵便 1、情報通信 1、製造 1	公務員 18、サービス 4、医療・福祉 23、教育・学習支援 3、飲食サービス 1、宿泊 1、不動産・物品賃貸 1、金融・保険 3、運輸・郵便 3、情報通信 1、電気・ガス・熱供給・水道 1、製造 1、建設 1、農業・林業 1

【参考とした調査】

内閣府や報道機関の調査を参考に、設問を作成しました。

実施主体	実施期間	調査対象	調査方法	回答者数
内閣府	2020年5/25～6/5	国内居住の登録モニター	ネット	10,128人
NHK 世論調査	2020年11/4～12/7	全国の18歳以上(3,600人)	郵送	2,331人
朝日新聞 世論調査	2020年11/11～12/21	全国の有権者(3,000人)	郵送	2,126人

【生活への具体的な影響やストレス】

「親や友人など会いたい人に会えない」が最も多く、外出機会の減少や心身・仕事面の負担に関する回答も多いことから、これまでの日常が大きく変化している現状が分かります。

問1. 生活への具体的な影響は何ですか。(複数回答可)	回答	(NHK)
1 日常生活に必要なものが買えない	6人(1.7%)	1%
2 感染予防に必要なものが買えない	12人(3.4%)	2%
3 収入が減って生活が苦しい	23人(6.5%)	11%
4 仕事や学業がとどこおっている	8人(2.3%)	7%
5 仕事の負担が増えている	34人(9.6%)	14%
6 家事や子育て、介護の負担が増えている	12人(3.4%)	3%
7 一日中、家で過ごすことが多い	41人(11.6%)	30%
8 親や友人など会いたい人に会えない	96人(27.1%)	49%
9 以前ほど医療機関に行かなくなった	40人(11.3%)	6%
10 精神面での変化がある(イライラすることや、気持ちが落ち込むことが増えたなど)	37人(10.5%)	20%
11 身体面での変化がある(体重が増えた、足腰が弱くなったなど)	31人(8.8%)	—
12 特にない	9人(2.5%)	19%
13 その他	5人(1.4%)	10%

・飲食店や商店に、以前より気軽には入らなくなった(30代) ・イベントが中止になり残念な気持ちと、身体が休める！と半々。自宅の整理時間が増えて良かった(50代) ・島外へ行きづらい(30代) ・求職中だが求人が少ない(40代) ・国の対応が酷すぎ。県がGo Toを開始するのはおかしい(40代)		
合計	354人	—

問2. どのようなストレスがありますか。(複数回答可)	回答	(NHK)
1 感染防止対策に気をつかうこと	104人(72%)	76%
2 自分や家族が感染するかもしれないと考えること	86人(60%)	75%
3 家族と過ごす時間が増えていること	7人(5%)	8%
4 家事や子育て、介護の負担が増えていること	10人(7%)	7%
5 気軽に外出できないこと	84人(58%)	75%
6 気軽に旅行や帰省ができないこと	108人(75%)	66%
7 飲み会や食事会を控えていること	92人(64%)	53%
8 行事やイベントの中止	104人(72%)	52%
9 仕事や学業がとどこおっていること	14人(10%)	15%
10 仕事の負担が増えていること	17人(12%)	15%
11 収入が減っていること	10人(7%)	18%
12 特にない	10人(7%)	—
13 その他 ・給付金の回数が少なすぎる(40代) ・マスクをしていない人が怖い。「マスクは悪」と触れ回っている人がアーケード付近にいてとてもストレスを感じた(30代)・学校行事の自粛(20代)	3人(4%)	3%
合計	445人	—

【新たに取り組んだことや「新しい生活様式」】

「今までやれなかった日常生活に関わること」や、趣味・オンライン交流、資格取得に取り組むなど自宅での時間を有効活用された方も多いことが分かりました。

今後定着すると思う「新しい生活様式」については、「マスク着用や手洗いの徹底」が約2割と最も多く、その他の項目はほぼ同程度の回答率となりました。

問3 「新たに挑戦したり、取り組んだりしたことはありますか。 (複数回答可)	回答	(内閣府)
1 今までやれなかった日常生活に関わること(家の修繕等)	39人(20.5%)	28.4%
2 本格的な趣味(芸術、料理等)	27人(14.2%)	16.0%
3 オンラインでの発信(YouTube等)や交流(Zoom等)	24人(12.6%)	13.2%
4 教育・学習(新しい分野や技術、語学等)	14人(7.4%)	11.7%

5	ビジネス関係の勉強（資格取得、スキルアップ、転職情報収集等）	24人(12.6%)	8.8%
6	ビジネス（起業、副業、新商品開発等）	12人(6.3%)	4.7%
7	特になし	49人(25.8%)	38.8%
8	その他 ・体を動かす機会が減ったのでジムに通い出した（30代）	1人(0.5%)	(不明)9.2%
合計		190人	—

問4. 日常生活に感染症予防を取り入れる「新しい生活様式」が求められています。今後定着すると思うものはどれですか。 (複数回答可)	回答	(NHK)
1 マスク着用や手洗いの徹底	124人(20.9%)	91%
2 部屋の消毒や換気	80人(13.5%)	53%
3 3密（密閉・密集・密接）の回避	67人(11.3%)	51%
4 ソーシャル・ディスタンス（人との距離）の確保	55人(9.3%)	45%
5 公共交通機関や施設等の混雑時を避けた利用	50人(8.4%)	25%
6 テレワーク（インターネットを活用した在宅勤務など）	65人(11.0%)	51%
7 オンラインサービス（インターネットを活用した買い物や各種サービス）	75人(12.7%)	44% (宅配)43%
8 キャッシュレス決済（現金を利用しない決済）	75人(12.7%)	46%
9 特になし	0人(0%)	2%
10 その他 ・ワクチンよりPCR検査を積極的にしてほしい（40代）	1人(0.2%)	—
合計	592人	—

【感染への不安や予防への意識】

感染して重症化することへの不安を感じる方が約8割、「周りにマスクをしていない人がいるとき」「自分がマスクをしていないとき」いずれも気になると回答した方も8～9割にのぼることから、多くの方が感染への不安や予防への意識を持っていることが分かりました。

問5. 新型コロナウイルスに感染して重症化する不安をどの程度感じますか。	回答	(朝日)
1 大いに感じる	55人(38.2%)	42%
2 ある程度感じる	63人(43.8%)	45%
3 あまり感じない	23人(16.0%)	11%
4 全く感じない	3人(2.1%)	2%
合計	144人(100%)	100%

問6. 感染拡大防止のため、通常利用している医療機関での受診を控えたことがありますか。	回答	(NHK)
1 受診を控えたことがある	65人(45.1%)	39%
2 受診を控えたことはない	34人(23.6%)	32%
3 受診する必要がなかった	45人(31.3%)	28%
合計	144人(100%)	99%

問7. 周りにマスクをしていない人がいたら気になりますか。	回答	(NHK)
1 とても気になる	53人(36.8%)	36%
2 少し気になる	70人(48.6%)	51%
3 あまり気にならない	18人(12.5%)	11%
4 全く気にならない	3人(2.1%)	2%
合計	144人(100%)	100%

問8. ご自身がマスクをしていないとき、周りの目が気になりますか。	回答	(NHK)
1 とても気になる	105人(72.9%)	43%
2 少し気になる	35人(24.3%)	36%
3 あまり気にならない	1人(0.7%)	14%
4 全く気にならない	2人(1.4%)	6%
未回答	1人(0.7%)	—
合計	144人(100%)	99%

【働き方等の変化】

3割以上の方が「収入が減った」と回答しています。

支出の変化や失業・減収への不安については回答にばらつきがあるものの、将来の職業や収入、副業等を検討している方が約5割にのぼることが分かりました。

問9. 住む場所への関心は変化しましたか。	回答
1 現在奄美市に住んでおり、今後も奄美市で暮らしたい	119人(82.6%)
2 現在奄美市に住んでいるが、今後は別の場所で暮らしたい ・子どもが気分転換できる場所が少ない。不登校児のための環境がない(30代)	13人(9.0%)
3 現在奄美市外に住んでいるが、今後は奄美市で暮らしたい	5人(3.5%)
4 奄美市外に住んでおり、今後も現在の場所で暮らしたい	5人(3.5%)
未回答	2人(1.4%)
合計	144人(100%)

問10. 収入に変化はありましたか。	回答	(NHK)
1 大幅に減った	20人(13.9%)	10%
2 少し減った	31人(21.5%)	21%
3 これまでと変わらない	91人(63.2%)	65%
4 少し増えた	2人(1.4%)	2%
5 大幅に増えた	0人(0%)	0%
合計	144人(100%)	98%

問11. 支出に変化はありましたか。	回答	(NHK)
1 大幅に減った	6人(4.2%)	3%
2 少し減った	33人(22.9%)	20%
3 これまでと変わらない	47人(32.6%)	43%
4 少し増えた	46人(31.9%)	27%
5 大幅に増えた	10人(6.9%)	4%
未回答	2人(1.4%)	—
合計	144人(100%)	97%

問12. 失業や減収の不安を感じていますか。	回答	(NHK)
1 大いに感じている	24人(16.7%)	17%
2 ある程度感じている	38人(26.4%)	36%
3 あまり感じていない	39人(27.1%)	32%
4 全く感じていない	17人(11.8%)	15%
未回答	26人(18.1%)	—
合計	144人(100%)	100%

問13. 職業選択や副業等の希望は変化しましたか。(複数回答可)	回答	(内閣府)
1 具体的ではないが将来の仕事や収入について考えるようになった	49人(34.0%)	29%
2 副業を検討しはじめた	22人(15.3%)	9%
3 転職を検討しはじめた	8人(5.6%)	6%
4 希望する就業先や異動先が以前と変わった	0人(0%)	3%
5 副業を持った	4人(2.8%)	2%
6 転職した	1人(0.7%)	1%
7 特に変わらない	59人(41.0%)	(不明)4%
8 その他 ・副業ができる会社なら副業がしたい(20歳未満)	1人(0.7%)	1%
合計	144人(100%)	—

問14. 労働時間はどうなりましたか。	回答	(NHK)
1 減った	24 人(16.7%)	26%
2 これまでと変わらない	78 人(54.2%)	62%
3 増えた	14 人(9.7%)	10%
未回答	28 人(19.4%)	—
合計	144 人(100%)	98%

問15. 働き方にどのような変化がありましたか。(複数回答可)	回答
1 営業時間の短縮	12 人(9.4%)
2 営業内容の変更 ・コロナ対策の仕事が増えた(40代) ・コロナ病棟ができた。他科へ移動(20代) ・店舗営業から、オンラインを含む商品販売中心に(30代)	3 人(2.3%)
3 テレワーク(インターネットを活用した在宅勤務など)	11 人(8.6%)
4 オンライン会議	34 人(26.6%)
5 特にない	64 人(50.0%)
6 その他 ・マスクの着用(20代) ・一人業務の増加(50代) ・仕事が減った(40代)	4 人(3.1%)
合計	128 人(100%)

問16. インターネットを活用する下記のうち、利用が増えたものはどれですか。(複数回答可)	回答	(朝日)
1 学校の授業・習い事	15 人(5.9%)	8%
2 会議や打ち合わせ	37 人(14.6%)	19%
3 知人とのやりとり	36 人(14.2%)	24%
4 遠方に住む家族とのやりとり	50 人(19.7%)	15%
5 公的機関への申請	15 人(5.9%)	7%
6 買い物	72 人(28.3%)	24%
7 特にない	29 人(11.4%)	38%
8 その他	0 人(0%)	(診察)4%
合計	254 人(100%)	—

※以下の回答内容は一部抜粋・編集しています。

問17. 自治体や各種団体等の新型コロナウイルス感染症に対する取組について、ご意見やご要望をお聞かせください。(自由回答) ※回答内容は一部抜粋・編集しています。
【各種支援】 ・事業者への支援金助成金(50代) ・各種手続きの簡略化(50代) ・影響を受ける職種への早めでわかりやすい支援(30代)

- ・バイトができず仕送りが必要な学生を持つひとり親家庭への支援(40代)・完全にオンライン化できる事業への支援(40代)
- ・休業を余儀なくされる業種の働き手を人手不足の業種に派遣(50代)
- ・減収で業績が落ち込み存続が危ぶまれている観光事業者等への支援(20代)
- ・公務員からテレワークに取り組む。育休や在宅ワークを推進すると、子育て世帯の心にゆとりができるのでは(30代)
- ・仕事等で島外に行き来する方への配慮(60代)・奄美市(奄美大島)独自のやり方(イベントや支援)(40代)
- ・奄美市子育て応援 LINE「はぐくみ」にコロナ・子育て関連情報をもっと載せてほしい(30代)
- ・奄美市独自の市民を守る政策(20歳未満)・個人に対する支援等の充実(30代)
- ・子育て世帯はひとり親でなくてもお金がかかるので、同等の扱いにして給付金を増やしてほしい。子どもが室内で遊べる場所や島民のみ利用できる施設等があれば(30代)
- ・個人情報を守った上で基礎疾患のある方の把握など施策に必要なデータ整理。個人ID義務化。新しい行政サービスのあり方へのアプローチ(50代)
- ・ワクチンよりPCR検査。市独自の給付金(40代)・感染者ゼロを目標に現状維持に努めた取組(40代)
- ・地域密着で安く買い物できるようにしてほしい(40代)

【ワクチンやPCR検査等】

- ・希望者の無料PCR検査(50代)
- ・1歳半検診や内科・歯科検診、発達検査や発達相談などを一度で終わるように開催してほしい。集団で集まることへの不安はあるが、子どもを連れて何度も連絡したり受診したりするのが大変(30代)
- ・いつ頃ワクチンが打てるのか具体的に知りたい(60代)
- ・自分たちの年代はいつごろワクチン接種できるのか気になる(20歳未満)
- ・受けたくない人はワクチンを受けない選択ができるか知りたい(20歳未満)

【感染防止対策】

- ・予防を徹底しつつ健やかな日常を送るためにできることを地域で具体的に考えていきたい(20代)
- ・入口にスプレーやプッシュ式の消毒液を置いている店舗が多いが、自動や足踏み式だと安心(50代)
- ・水際で止めるのが一番(60代)・検温やマスク着用を徹底していることが多く、よいと思う(40代)
- ・十分な消毒液を使っていない方が非常に多い。使用方法を奄美市だよりで掲載してほしい(50代)
- ・奄美では各自治体や団体が感染防止対策に協力し、他市他県に比べ感染者は少数にとどめられているので今まで以上に対策に気を使いながら新しい生活様式を続けてほしい(40代)
- ・一人ひとりが気をつけながら対策を取り続けたらいい(40代)・もっと対策してほしい(40代)
- ・マスク、手洗いの徹底。店舗で消毒している姿が見られると安心して外出できる(30代)
- ・感染症予防対策が多岐にわたり本当に大変だと思うと同時に、衛生面の取組の進化に驚く(50代)
- ・外出を最低限にして、マスクを必ずつけて、人が少ない時間に買い物している(50代)
- ・安くはなってきたが、コロナ前と比べてマスクが高い。安く買える方法があれば(50代)
- ・マスクをしていない人が多く、危機感が足りない(60代)
- ・特にコンビニやスーパー等、公共の場でのマスク着用を呼びかけてほしい(20代)
- ・奄美は感染拡大とはならなかったが(噂を避けるなど)症状があっても積極的に検査を受ける人が少なかったのでは(50代)
- ・感染者がどの地域や店舗に行ったかすぐ分かるよう把握管理を徹底すべき。市もどのような形が一番よいのかモデルとなる施設等を公表すれば全体的に意識が高まるのでは(30代)
- ・手洗いうがいを継続、マスクを着用し、3密を防ぎながらコロナが終息してほしい(40代)

- ・奄美市役所の2階以外にも検温計や消毒液を設置しては(30代)
- ・次亜塩素酸水を消毒液として置いている店舗にエタノールに替えるよう教えてほしい(30代)
- ・里帰り先では子どもの予防接種の際に時間を設けて患者さんと会わずに済むようにしていた。まだ0歳でうがいやマスク等の予防が難しいので、そのように対応してもらえると助かる(20代)

【イベント実施】

- ・感染対策をしながらイベントを増やしてほしい(40代)・学校行事開催にあたりきめ細やかな対応に感謝(30代)
- ・学校行事等で子どもたちが我慢を強いられている現状をどうにかしてほしい(40代)
- ・各保護者判断の集会や飲食を伴う集まりは一部の方の考えで行われる。子どもが関わる集会だと参加せざるを得ない、参加させてあげないといけない状況も生まれるため悩ましい。強力な対策を日本全体で同時に行わなければ感染拡大阻止は不可能。医療機関に勤務しているが、入口に案内書きを掲示しても目に付かない方が多いのは、病院に入るときに何も意識が無いということ。個々の考え方が様々ある中で未知のウイルスの感染症を防止するのはすごく難しいと身をもって実感。年末年始の人々の移動で奄美市でも感染が広まったように、3月の異動でまた広がるかもと構えており、油断はできない(30代)
- ・各種団体の地域行事も規模縮小して開催する方向で調整してほしい(30代)

【情報発信】

- ・知的障害者や言葉の理解に難しさを持つ人への合理的配慮の一つは、情報を保護者や支援者だけでなく本人にわかりやすく伝えること。一般社団法人スローコミュニケーションのアドバイスなど活用してほしい(50代)
- ・具体的かつ迅速な情報発信(40代)・ネットを使えない高齢者への周知(40代)
- ・旅行や異動で内地との行き来が激しくなるので、より一層の感染予防と差別を防止できれば(30代)
- ・市内で感染者が出た場合、出た人数を全て公表してほしい。デマはすぐに対策してほしい(20代)
- ・ネット環境を整えると住民の関心が生まれる。気温が高くなるとマスク着用で高齢者や子どもの熱中症リスクが上がるため、こまめな水分補給と十分な距離を保っている場合はマスクを外すことも大切。周りの目が気になり我慢してしまうことのないようみんなが周知する必要がある(50代)
- ・混雑や不特定多数との接触を避けるため各種窓口へなかなか行けないので、ネットで頻繁に情報発信してほしい(20代)

【取組への御礼】

- ・体験プログラム等の企画(20代)・適切な感染予防に取り組んでいる(60代)
- ・島民限定の体験・宿泊助成を利用。外出機会が減る中、島でしかできない経験ができた(30代)
- ・とても素晴らしい(20代)・よくやってくれていると思う。これ以上は特に望めないだろうと感じる(40代)
- ・不安とストレスを感じる中、対策や取組の発信に感謝。市民1人につき5千円のクーポン券配布など、とてもありがたい。風評や雰囲気づくりの面での舵取りやサポートに期待(30代)

【総括】

20歳未満から60代までの奄美市内外に住む144名の方々より、貴重なご意見をいただきました。皆様からのご意見は、今後の新型コロナウイルス感染症対策の参考とさせていただきます。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。